

3D技術による 復興計画イメージ共有の有効性について

防潮堤を勉強する会
第6回勉強会

オートデスク株式会社
井上 修

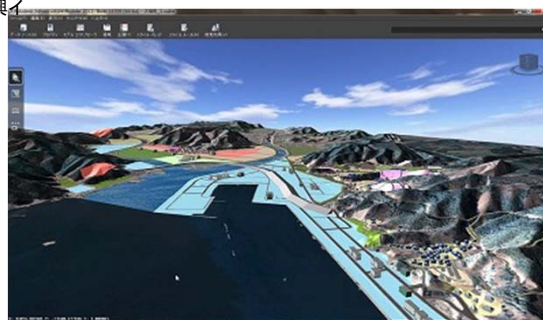
大槌町での事例



図面と3Dモデルを照合しながら地域別の復興イメージを確認


「地図上に書かれた道路の計画を3Dで見ると、勾配が急すぎたり、切土・盛土が大規模になりすぎたりして現実的に建設が難しい場所も視覚的に分かりやすい」

大槌町復興推進室 主事 松橋史人氏



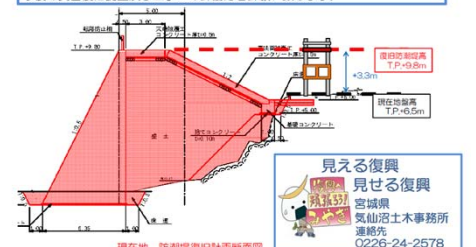
3Dによる防潮堤イメージ(サンプル)

海岸防潮堤復旧事業【沖の田海岸】



標示版について


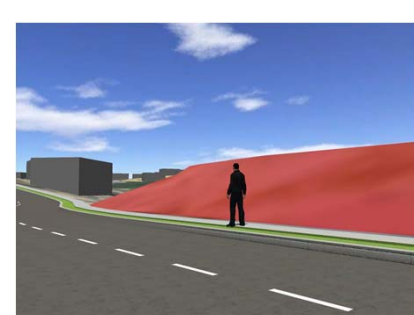

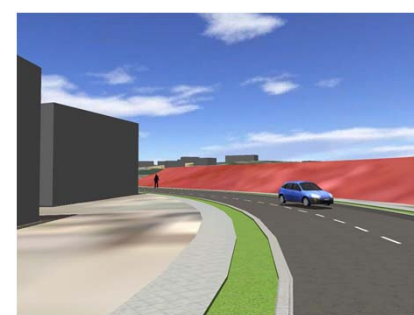
沖の田海岸の防潮堤災害復旧高さを、復旧工事前に現地で実感して頂く為に丁張で高さを標示しました。
 現在地盤高さ6.5m、復旧高さ9.8mとなり、+3.3mとなります。
 今後の災害復旧調査及び工事への御協力を御願致します。



事業概要		復旧工程							
復旧延長 L = 176.7 m ・ 直立堤 L = 176.7 m (防潮堤高 T.P.+9.8 m) ・ 測量設計 一式	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ADD8E6;"> <th style="width: 12.5%;">M23</th> <th style="width: 12.5%;">M24</th> <th style="width: 12.5%;">M25</th> <th style="width: 12.5%;">M26</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← 災害調査</td> <td style="text-align: center;">← 測量設計</td> <td style="text-align: center;">← 復旧工事</td> <td></td> </tr> </table>	M23	M24	M25	M26	← 災害調査	← 測量設計	← 復旧工事	
M23	M24	M25	M26						
← 災害調査	← 測量設計	← 復旧工事							

出展: 宮城県庁トップページ > 河川課 > 東日本大震災に伴う津波被災の復旧方法・復旧予定等について
http://www.pref.miyagi.jp/kasen/higashinohon_fukkyu/pdf_fukkyu/kaigan_okinoda.pdf

見える復興 見える復興
 宮城県 気仙沼土木事務所 連絡先 0226-24-2578

注意: 道路は実際の計画に入っていません。